

# 松本地区更生保護サポートセンター 令和6年度 移転 松本市総合社会福祉センターへ

松本市総合社会福祉センター  
松本市双葉四一六



第125号  
令和6年3月1日  
発行 松本地区保護司会

現在の松本地区保護司会サポートセンターは、更生保護法人松本みずす寮内にあります。寮生との関係もあり、会議・対象者との面接などの時間制約、場所的にも市の北部にあり会員からも不便、との声がありました。

令和三年秋、市議会議員との交流会の席で市議会側にサポートセンターの狭隘と面接場所の不足をアピールして翌年三月の市議会において、活動拠点の確保についての請願を行い、議会において可決承認されました。

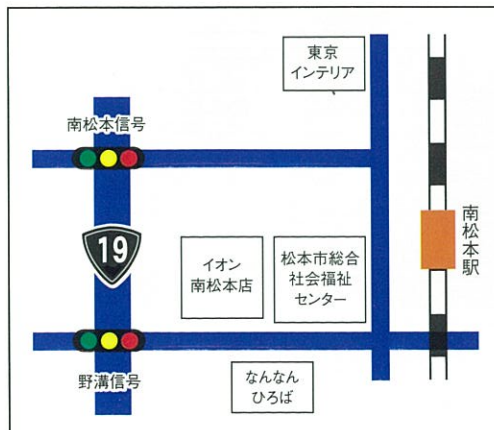
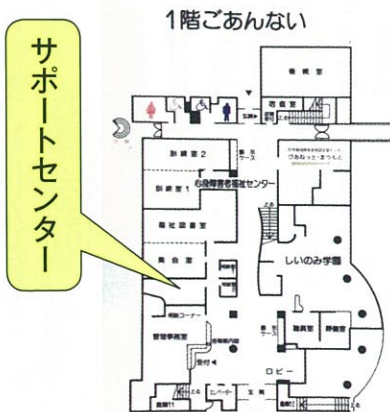
令和五年度には南松本の総合社会福祉センター内に場所が提示されました。これは、県内の保護司会は地区の社会福祉協議会の関係団体になっており、その関係で社会福祉協議会が入る建物にサポートセンターを設置しているところが多数あるからです。

令和六年度四月に念願の移転開設が決定いたしました。移転に伴い現在のサポートセンターの場所は、北部の面接場所として残す予定です。

サポートセンターの充実はいく々の会員の保護司活動の充実に直結することと思えます。今日に至るまで多くの方のご努力によりサポートセンターが設置・運営され

て参りました。その努力に敬意と感謝を申し上げ、さらなる発展の礎としたいと思います。

会長 古田 道康



第68回 長野県更生保護大会



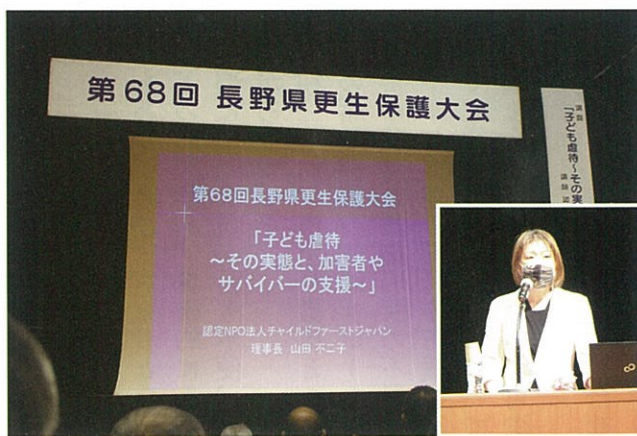
第68回  
長野県更生保護大会

十月二十六日(木)に、「第六十八回長野県更生保護大会」が長野県伊那文化会館で開催され、県内の保護司ら約八百名が参加しました。

始めに、認定NPO法人チャイルドファーストジャパン山田不二子理事長による『子ども虐待〜その実態と、加害者やサイバiberの支援〜』についての講演がありました。その後、功労者の顕彰が行われました。

受賞者の功績を称えると共に、更生保護の充実と発展に向け思いを新たにしました。

今回は、更生保護制度施行七十五周年記念第三十八回関東更生保護大会と併せて、令和六年十月二十五日(金)にキッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)で開催予定です。



松本地区保護司会  
視察研修

十一月六日(月)に、三十一人が参加して「横浜刑務所」を視察しました。

横浜刑務所は全国的にも例を見ない「笑う刑務所」と言われている刑務所です。

刑務作業の製品はどれも高品質で、特にパスタは人気があり視察前日の矯正展では完売となり、私たちは購入出来ず残念でした。

**荣誉に輝く  
秋の叙勲**  
(敬称略)

◇藍綬褒章  
更生保護功績  
鳥居 とし子

長年のご活躍に対して受章  
されました。  
心よりお祝い申し上げます。



**受賞者のみなさん  
おめでとうございます**

松本地区関係者は次の通りです。  
(敬称略・順不同)

**法務大臣表彰**

- 田中 強道 佐々木 澄子  
小澤 秀眞

**法務大臣感謝状**  
(BBS会員)

- 青木 豊子

**全国保護司連盟理事長表彰**

- 小笠原 力男

**関東地方更生保護委員会  
委員長表彰**

- 河合 徹 小岩井 里美  
滝澤 悌二 中野 清美  
村山 純

**関東地方更生保護委員会  
委員長感謝状**  
(更生保護協力雇用主)

- 大原 篤

**関東地方保護司連盟会長表彰**

- 上條 琴子 高宮 一男  
滝澤 修 丸山 徳子  
山田 真弘 山本 美千代

**長野県知事表彰**

- 斉藤 加根子

**長野保護観察所長表彰**

- 上條 琴子 山田 真弘  
山本 美千代 丸山 徳子  
堀内 勝幸 佐藤 いづみ  
青木 崇

**長野保護観察所長感謝状**  
(BBS会員)

- 工藤 太陽 猿田 朱里  
(更生保護協力雇用主)  
中原 佳代

**長野県保護司会連合会会長表彰**

- 手塚 貴雄 相澤 真由美



# 明るくする運動”

直りを支える地域のチカラ～

# コンテスト

本作文コンテストは、次代を担う小・中学生の皆さんに、日常の家庭生活や学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたことを作文に書くことを通じ、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的に行われています。

今年は、県内の小・中学生の皆さんから小学生五、六八二点、中学生四、四四七点の応募がありました。松本地区からは、小学生五三六点、中学生五六二点の応募があり、この内中学生一点が県の最優秀賞に選ばれました。今月号では、この作品を掲載させて頂きます。

## ● 中学校の部

### 最優秀賞

「いかなければ  
ならなく」と

松本市立菅野中学校

三年 下平 道人

犯罪や非行をしてしまう人の中にその罪に対しての意識が低い人は多いと感じる。

私は昔からの友人がいる。その友人は明るくて、一緒にいると楽しい、そんな人柄だった彼はいわゆる「非行少年」であった。火遊びをしたり、人の庭から物を盗ってきたり、そんな事を遊ぶたびに聞くほどだ。

ある日、その友人と買い物に行く約束をし合流してお店に向かっていた。他愛ない話をしながら歩

いていると、彼は笑顔で聞いてきた。

「万引きって知ってる。」

当時小学二年生だった私だが、もちろん知っている。

「知っているけど、それがどうしたん。」

私が聞き返すと彼はこういった。「万引きしてみいひん。」

そう問われて私は戸惑った。私がぼかんとしている間に彼はこう続けた。

「前に一回やったことあんねん。せやけど、誰も見てへんかったし、バレへんかったから大丈夫やで。」

驚いた。まさか彼が「非行」という言葉では片付けられない「犯罪」に手を染めていたとは。

「あかんやろ。バレたら怒られんぞ。」

そう断ると、彼はいった。

「小さいやつなら大丈夫やって。」

そう言われると私は揺らいだ。一

回やってみたいという好奇心が大きくなってきたのだ。彼のいつもの行動から「非行」がカッコいいと思つたのかもしれない。そんなことを話している間にお店に着いてしまった。

お店の中に入った後、作戦会議だとい彼は私の手を引っ張って人通りの少ないお菓子売り場へと向かった。

「どうやってやる。」

と彼は笑顔で聞いてきた。だがさっきまで私の中にあつたやってみたという気持ちは直前になると罪を犯してしまうことへの恐怖へと変わっていった。

「やっぱりやめようや。」

小さな声でいったせいか、彼には聞こえなかったようだ。すると彼は

「俺が先に行くから、後からついてきて。」

といい、商品に手をかけ歩き出していた。そのとき私は祖父の言葉

# 第73回 “社会を

～犯罪や非行を防止し、立ち

# 長野県作文

を思い出していた。  
「人様に迷惑のかかることは、絶対したらあかんぞ。」

祖父がよくいっていた言葉だ。そして私は周りに聞こえてしまうような声量で

「こんなことやっぱりやめよう。したあかんことやし。」  
彼は振り返って驚いたような顔をした。

「そんな大きい声出せたんやな。」  
そういった後、彼は続けた。

「今日は帰るか。」  
そういい二人でお店を出た。帰り道は無言だった。

一週間ほどたったある日、我が家の家にやってきた。そして彼はいった。

「お母さんにあの話を話してん。」  
あのことは万引きをしようとしてしまったことだろう。

「自分が止めてくれへんかったら、俺、犯罪をしちゃってたんやな。知らんかってん、万引きが、色んな人に迷惑をかけること。」

そう涙目でいつてきた。  
「ありがとう。止めてくれて。」

そう言った。その後彼から「非行」の話聞くことは無くなった。そして今でも良い友人である。

彼のようによく考えずに犯罪をしてしまう人は多い。そんな人を

なくすためにはどうすれば良いのか。私は周りの人がだめなことをだめといえることだと考える。私は祖父の教えで踏み留まれたし、友人も私や母の言葉によって反省できたと思うからだ。  
非行や犯罪をしてしまう人と向き合える、そして周りの人や悩んでいる人を助けられるそんな人にならなければならない。

## 入賞・入選者

(松本地区分・敬称略)

### ◇小学校の部

〈県 入選〉

- 鎌田小学校六年 荒木 咲衣
- 寿小学校六年 高野 柚奈
- 寿小学校六年 中島 紬希
- 菅野小学校六年 渡辺 ひまり
- 二子小学校六年 宮坂 紗来

### ◇中学校の部

〈県 最優秀賞〉

- 菅野中学校三年 下平 道人

〈県 優秀賞〉

- 菅野中学校一年 山本 雅峻
- 信大附属松本中学校一年 小松 緒和

〈県 入選〉

- 鎌田中学校二年 乾 遼太郎
- 鎌田中学校二年 原 希光
- 鎌田中学校一年 杉本 凜
- 梓川中学校三年 榎原 愛珠
- 信大附属松本中学校三年 原 和香奈



### 更生保護の マスコットキャラクター

立ち直ろうとしている人をいつも温かく見守り、犯罪や非行のない幸せな社会を願う心優しいペンギン。胸には「生きるマーク」。非行(飛行)しません!

あやまちは 繰り返さない 見逃さない

# 地域別定例研修会

森瑛保護観察官から「報告書の見方、書き方」と題する講義がありました。

私は十数年前に先輩から「各種報告書を書く機会に一回も恵まられず、犯罪防止活動に尽力され退任された方がいたそうだ」とお聞きしました。そうありがたいものです。観察官からは、行政手続き等にも ICT 化の推進施策で、保護司専用 HP を利用して、保護観察経過報告書等を作成し提出できる旨の指導がありました。



今後は松本地区保護司会の運営等全般がデジタル化され、より迅速かつ適切な対応が可能になるでしょう。

保護司なら誰しも携わった対象者の、その後の動向を気にしているものと思います。

西分区 二村 俊永

『しよく罪指導』についての研修であったが、新米の私にとっては、初めて聞く内容で、難しい内容だなあと思いつながり講義を聞いていました。

犯罪被害者等の思いに応える保護観察処遇の充実強化のために法律改正があり、新たな『しよく罪指導プログラム』が運用されたとの事でありました。

しかし、勉強になったという思いがあった反面、今まで考えていた保護司としての役割と何かちよつと違うなあ、と違和感を持って講師の説明を聞いていました。

講義が終わり質問の時間になると、諸先輩方が疑問を発言されていました。

まだまだ、保護司としては未熟者の私ではありますが、この『しよく罪指導』についてもっと勉強していきたいと思っています。

南分区 百瀬 雅仁

## 保護司の異動

(敬称略・順不同)

(退任)

令和五年十一月三十日付け

鳥羽 弘 純(南分区)

中田 秀 子(南分区)

永野 正 孝(北分区)

長い間大変お疲れさまでした。

## 松本地区保護司の担当する対象者数

令和 6 年 1 月 19 日現在

1号観察	9件	生活環境調整	
2号観察	2件	少年院在院	8件
3号観察	5件		
4号観察	14件	刑務所在監	23件
計	30件		

1号観察とは、家庭裁判所の決定により、保護観察に付された少年。  
2号観察とは、少年院から仮退院を許された少年。  
3号観察とは、刑務所から仮釈放を許されている人。  
4号観察とは、刑の執行猶予され、保護観察に付された人。

## ホゴちゃんの一言

昨年春からのエルニーニョ現象は今年の春ごろまで続く予想となっています。たしかにこの冬は暖冬だと感じますが、なぜ昨年の日本の夏(六月～八月)の全国の平均気温が、統計開始以降で最高を記録する程の猛暑だったのか?▼そもそもエルニーニョ現象の場合、日本への影響は冷夏や暖冬になりやすく、ラニーニャ現象の場合、夏は猛暑や冬はより寒くなる傾向になるはず▼一説によると、令和二年夏から令和四年冬まで三年連続でラニーニャ現象が続いたため、フィリピン付近の海水温が高い状態▼エルニーニョ現象となってもフィリピン付近の海水温が下がりがらず、夏に温かいままであったことで「偏西風」がいつもより北側に吹くようになり、太平洋高気圧が日本付近に強く張り出し猛暑になったようです▼これらの異常気象は、自然現象のせいだけではなく、地球温暖化による気温の底上げも影響していると考えられています▼さて、今年の夏はどうなるでしょうか?